



教科名： **電装品整備1**

**2025年度**

**講義**

**一級自動車工学科・自動車整備科**

**時期： 2年 前期**

**科目： 自動車整備**

**時限数： 24時限**

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
<b>FY24</b>	シラバスメンテナンス	3/18	合田
<b>FY25</b>			
<b>FY26</b>			
<b>FY27</b>			
<b>FY28</b>			
<b>FY29</b>			

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科		2025年度 授業計画				
時期	2年前期	単元	講義	教科名	電装品整備1	
科目	自動車整備	教科書等 持参品	2級ガソリンエンジン 電装品構造		発行日	2024年3月18日
※ 注1 総時限	24時限				教科担	高橋 潔
※ 注1 授業時間	38.4時間			当	見谷 哲	※ 注2 ●
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1945.6時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1800時間（50分ベース））						
<b>1. 指導教員の実務経験</b> <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">該当</span> 非該当						
自動車整備士として電装品整備の実務経験がある教員により電装品の構造・作動について指導する						
<b>2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）</b>						
①バッテリーの構造、機能、整備を理解する。 ②始動装置の構造、作動を理解する。 ③点火装置の構造、作動を理解する。 ④エアコンディショナの構造、作動、整備を理解する。 ⑤自動車の電気計器の構造、作動を理解する。 ⑥充電装置の構造、作動を理解する。						
<b>3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）</b>						
①バッテリーの機能・整備方法を理解し説明できる。 ②モータの原理/分類を理解し説明できる。 ③始動装置の役割、構成部品や構造、名称、作動、電気の流れ、特性を理解し説明できる。 ④始動装置の点検整備を理解し説明できる。 ⑤点火装置の役割、構成部品、電気の流れ（バッテリー～スパークプラグ、アースまで）理解し説明できる。 ⑥点火装置の構造、名称、電気の流れ、制御を理解し説明できる。 ⑦エアコンディショナの構成部品、名称、役割や構造、作動、整備を理解し説明できる。 ⑧電気計器の役割、構成部品や構造、名称、作動、電気の流れを理解し説明できる。 ⑨充電装置の構造、名称、作動、電気の流れや点検整備を理解し説明できる。						
<b>4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）</b>						
・学科履修試験で評価し、中間試験と期末試験の平均点で評価する。学科履修試験は80分 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：（工学科70点以上・整備科60点以上） 工学科 80点以上：優 70点以上：良 70点未満：不可 整備科 80点以上：優 60点以上：良 60点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、工学科70点以上、整備科60点以上で合格とみなす。 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により再評価を実施し、合格とみなす場合がある。						
<b>5. 準備学習</b>						
・3級自動車シャシ、3級自動車ガソリン・エンジン、3級自動車ジーゼルの各テキストの内容を復						
<b>※注1</b> 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す <b>※注2</b> ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者						
<b>6. 指導目標</b>						
①バッテリーの機能、特性を理解させる。 ②始動装置の役割、構成部品や構造、名称、作動、電気の流れ、点検整備を理解させる。 ③点火装置の役割、構成部品、電気の流れや構造、名称、電気の流れ、制御を説明できる。 ④エアコンディショナの構成部品、名称、役割や構造、作動、整備を理解させる。 ⑤電気計器の役割、構成部品や構造、名称、作動、電気の流れを理解させる。 ⑥充電装置の構造、名称、作動、電気の流れ、点検整備を理解させる。						

